

I-neb AAD ネブライザ

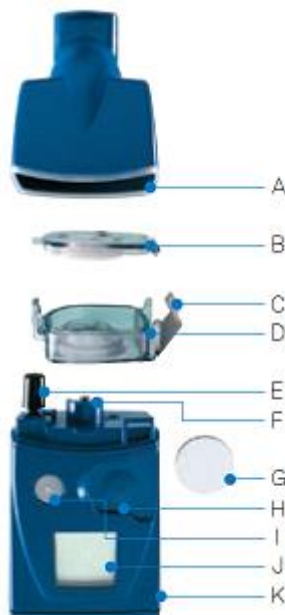
【形状・構造及び原理等】

1. 概要

本品は超音波振動により薬液をエアロゾル化して患者に吸入させるために使用する。薬液投与に関する情報がプログラムされたディスクを挿入して使用する。使用の状況、エラー等の情報を患者にフィードバックする機能がある。使用に関するデータをデータメモリに記憶し、赤外線発光部からコンピュータに送信することができる。

2. 形状及び各部の名称

<I-neb ユニット>



<付属品>



- | | |
|------------------------|-------------|
| A: マウスピース | H: ディスクスロット |
| B: 薬液槽蓋 | I: 電源ボタン |
| C: 薬液槽蓋ホルダー | J: 液晶画面 |
| D: 薬液槽 | K: I-neb 本体 |
| (B, C, D のセット: 薬液槽セット) | L: 薬液ガイド |
| E: センサーポートカバー | M: 電源コード |
| F: 高周波振動子 | N: 充電器 |
| G: ディスク | O: 洗浄用バスケット |

3. 電氣的定格

- (1) 入力定格：100-240VAC、50-60Hz
- (2) 消費電力：6W

4. 機器の分類

- (1) 電撃に対する保護の形式：内部電源機器、クラスⅡ機器（充電器から電源供給を受けながら使用する場合）
- (2) 電撃に対する保護の程度：BF 形装着部

- (3) 水の有害な浸入に対する保護の程度：IP22

5. 寸法

I-neb ユニット：150mm(高)x65mm(幅)x45mm(奥行き)

6. 作動原理

センサ類からの情報、およびディスクの情報がマイクロコントローラへ送られ、マイクロコントローラはその情報に応じて高周波振動子を超音波振動させる。その振動が薬液槽に伝わると、槽内の薬液が薬液槽蓋の中央にあるメッシュホールを通してエアロゾル化し、患者はマウスピースを通してエアロゾルを吸入する。また、使用の状況、エラー等を表示機能、ブザー機能、バイブレーション機能によって患者にフィードバックする。使用に関するデータを I-neb 本体内のデータメモリに記憶し、赤外線発光部からコンピュータに送信することができる。

【使用目的又は効果】

本品は薬液をエアロゾル化して患者に吸入させるために使用する。

【使用方法等】

1. 使用前

- (1) I-neb ユニートを充電器に設置し、電源プラグを商用電源に接続して、バッテリーを充電する。
- (2) 医師の指示にしたがってディスクを選択し、ディスクスロットに挿入する。
- (3) マウスピース、薬液槽セット、薬液ガイドを洗浄する。
- (4) 初めて使用する前には、I-neb ユニートの薬液槽の取外しと組立てを繰り返して、習熟する。

2. 使用

- (1) 医師の指示にしたがって薬液槽を選択し、I-neb 本体にセットする。薬液槽が適切なものであることを確認する。
- (2) I-neb 本体を平らな場所に置き、薬液ガイドを用いて薬液を薬液槽の中央に入れる。
- (3) 薬液槽蓋とマウスピースをセットする。薬液槽蓋を閉める際は、下図のように蓋のピンを薬液槽のスロットに入れ、しっかりと固定する。



- (4) 電源スイッチを押して I-neb ユニートを起動し、スタートアップスクリーンが現れるまで待つ。

- (5) Ineb ユニットを表示画面が下を向くようにして水平に持つ。
- (6) マウスピースをくわえて息が漏れないようにし、口で呼吸を繰り返す。鼻で呼吸をしないよう、鼻をつまんで何回か呼吸をして、口で呼吸をしていることを確かめる。鼻から指を離して口で呼吸をする。何回か呼吸をした後に、薬液の噴霧が開始する。薬液の噴霧が始まると、呼吸ごとに振動が感じられる。ブザーが鳴るまで呼吸を続ける。ブザーが鳴ったら噴霧が終了し、自動的に電源が切れる。

3. 一時停止

- (1) 口からマウスピースを離して2分間経過すると、薬液の噴霧が一時停止する。
- (2) 吸入を続けるには、再びマウスピースをくわえて呼吸を開始する。吸入を10分以内に再開しなかった場合には、自動的に電源が切れる。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- 呼吸同調器を使用して、経鼻カニューレから酸素吸入を行っている場合は、酸素を連続吸入する。
- 本体の電源を入れる前に、マウスピースが取り付けられていることを確認する。
- 使用前にディスクおよび薬液槽が適切なものであることを確認する。
- 使用後残った薬液は再使用しない。
- 薬液槽蓋の中央にあるメッシュは破損しやすいため、洗浄の際は直接水道の流水にあてない。薬液槽蓋は丁寧に扱う。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- マウスピースで呼吸ができる2歳以上の患者が使用する。
- 意識があり、自発的に呼吸している患者にのみ使用する。
- 本品は1人の患者専用で使用する。[本品は滅菌処理できない]
- 本品はプロスタグランジン I2 誘導体製剤ベンテイビス®吸入液 10 µg の吸入に使用する。[他の薬剤の使用については評価していない。]

<過剰使用>

- 吸入器に入れた薬液量が吸入に必要な量よりも多い場合、吸入器が誤作動し、薬液吸入用量が過剰となる可能性がある。使用する薬液の薬物過剰摂取症状が発生した場合は、直ちに医師に連絡する。

【保管方法及び有効期間等】

耐用期間：5年 [自己認証データによる]

(添付文書、取扱説明書に基づく保守又は点検を実施した場合。)

【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項

- 毎使用後の洗浄
 - マウスピース、薬液槽、薬液槽蓋、薬液ガイドを洗浄用バスケットに入れる。食器用液体洗剤をぬるま湯に3滴入れた洗剤溶液の中にバスケットを入れる。洗浄溶液の中でバスケットを前後に動かして洗う。
 - パーツの入った洗浄用バスケットを軟水、蒸留水、またはろ過水ですすぐ。硬水の場合は、沸騰後、冷却してからすすぐに使用する。バスケットを振って余分な水気を切り、パーツを自然乾燥させる。
- 週に1回の洗浄（本品を初めて使用する場合、また長期間使わずに保管していた場合は、使用する前に、下記の方法で洗浄する。）
 - マウスピース、薬液槽、薬液槽蓋、薬液ガイドを洗浄用バスケットに入れ

る。軟水、蒸留水、またはろ過水と3滴の食器用液体洗剤を鍋に入れ、その中にバスケットを入れる。沸騰させて、10分間煮沸洗浄する。

- 軟水、蒸留水、またはろ過水ですすぐ。硬水を使う場合、沸騰後に冷却してからすすぐに使用する。バスケットを振って余分な水気を切り、パーツを自然乾燥させる。

・定期的な手入れ

本体に液体がこぼった場合は、清潔な湿った布で拭き取る。

・6ヶ月ごとの手入れ

使用開始後6ヶ月経過したマウスピース、薬液槽セット、薬液ガイドは廃棄し、新しいものと交換する。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：株式会社フィリップス・ジャパン

<Ineb AAD ネブライザ お問い合わせ先>

受付時間：7:00～22:00（年中無休 365 日対応）

お客様コールセンター 0120-48-4159

* 製造業者：PHILIPS RS NORTH AMERICA LLC

（フィリップス アールエス ノース アメリカ エルエルシー）
アメリカ合衆国